

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（585）

2. 日時：令和5年11月6日 14時20分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官、宮本上席安全審査官※、

熊谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官※、

谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他10名

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性評価方針について（止水ジョイントの設計方針及び指摘事項に対する回答）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 32）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第4条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁藤原です。それは時間になりましたのでヒアリング始めます。泊発電所3号炉の膨張て構造成立性評価方針についてのうち、本指針ジョイントの設計方針とその指摘事項に対する回答。
0:00:13	これに関して事業者の方から説明してください。
0:00:17	はい。北海道電力の高橋です。本日は防潮での構造成立性評価方針のうち、止水ジョイントの設計方針、それから指摘事項の回答をさせていただきます。
0:00:29	今回2回目のヒアリングで、12月の初旬を会合として目指したいというふうに思っております。
0:00:39	また、大変申し訳ございませんけれども、後程ご説明しますけれども、9ページで、一部誤記が見つっております。そういったところをご説明させていただきたいと思っております。
0:00:52	それ、
0:00:53	はい。
0:00:54	はいそうです。
0:00:56	はい。それでは千葉の方からご説明させていただきます。
0:01:03	北海道電力の千葉です。資料1-1に沿ってご説明させていただきます。1-1の
0:01:09	3ページをお願いいたします。
0:01:15	こちらのページでは、これまでの説明経緯と本日の説明趣旨を説明させていただきます。まず一つ目の丸、これまでのアンカーボルトの性能試験に関する説明経緯につきましては矢羽根二つに、と書いてあります通りで、
0:01:32	一つ目の矢羽根第1111回の審査会合において、アンカーボルトの性能試験は、単体配置のファンカボルトを想定して実施することをご説明いたしました。
0:01:43	その次、第1192回の審査会合において、防潮底の高さの変更に伴いまして、止水目地の構造を変更することを説明いたしました。
0:01:54	それに伴いまして本日の説明趣旨のにつきましては下の三つの矢羽根の通りになってございます。
0:02:01	まず一つ目の矢羽根の文章の中で止水ジョイントという言葉があるんですけども、こちらにつきましてはこれまで止水目地と呼んでいたものの名称を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:13	止水ジョイントに変更しております。泊発電所の止水ジョイントの設計につきまして、先行の実績との相違点を踏まえた設計の論点を、下の下表の通り、抽出しております。
0:02:28	その中で、論点①から論点④まででございますけれども、この資料1-1では、論論点②と論点③についてご説明いたします。
0:02:39	で、論点②につきまして直行方向に配置するアンカーボルトの設計方針を示すということで、こちら後日の2章の方でご説明いたします。
0:02:49	で、論点3につきまして、こちらは以前、第1089回の審査会合における指摘事項、止水目地の販価ポルトBの性能試験結果を踏まえた許容限界を含む設計の考え方に対する回答を含めてご説明いたします。
0:03:09	続きまして4ページお願いいたします。
0:03:13	こちらから、前回のヒアリングからの変更箇所に絞って内容をご説明させていただきたいと考えております。
0:03:21	こちら4ページでは、止水ジョイントの構造概要と、説明になっておりますこちらについては、先ほど申しました止水目地から止水ジョイントに表現を変えたことの変更がございます。
0:03:34	続きまして、
0:03:36	5ページお願いいたします。
0:03:42	こちらの5ページから直行方向に配置する、アンカーボルトの設計方針についてのご説明になります。こちら、このページについては、先ほど申しました、表現の変更。
0:03:55	等の修正になってございます。
0:03:58	続きまして6ページの表現の変更で飛んで7ページお願いいたします。
0:04:09	こちらのページでは直交方向に配置するアンカーボルトの考え方につきまして、タテ方向と横方向のアンカーボルトの影響範囲に関するへの考え方についてのご説明になってございます。
0:04:22	その中で丸の二つ目の文章を追記してございます。直交するアンカーボルトに作用した荷重により生じるセメント改良度の応力状態につきましては、FEM解析を用いて、小設計及び工事減額認可段階でご説明させていただきたいと考えてございます。
0:04:40	続きまして8ページ、お願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:48	この8ページから3、3ページ分につきましては新規のスライドの追加になっておりまして内容も追加になってございます。
0:04:58	直行方向に配置するアンカーボルトが負担する荷重の考え方ということで、
0:05:05	まず、衛藤かこちらでは、直行方向に配置するアンカーボルトの荷重の分担の考え方をご説明しております。一つ目の都丸が概要になりますけれども、
0:05:15	直行方向に配置する、アンカーボルトが負担する荷重に関しまして、アンカーボルトに作用する確保、X方向とY方向とZ方向。
0:05:25	こちらの方向については、※の一番に書いてます通り、棒状汀線方向をX方向、山側法面方向Y方向、山側法面と垂直の方向をZ方向と考えてございます。
0:05:39	こちらの各方向に作用する衛藤荷重と、
0:05:44	直交するアンカーボルトの江藤引っ張り方向せん断方向それぞれの抵抗の方向を考慮して、足し合わせた許容限界を用いた評価、こちらを基本ケースとして、アンカーボルトの評価を行うことを考えてございます。
0:05:59	で、作業する荷重の考え方については、衛藤丸の二つ目に、と書いてございます。
0:06:06	こちらについては、
0:06:08	下の矢羽根にAと書いている江藤X。
0:06:12	XとYとZの方向ごとに、
0:06:16	アンカーに作用するせん断、
0:06:20	解析値からえられる荷重と、ゴムの聴力を足し合わせることで評価することを考えてございます。
0:06:26	解析値の場合荷重というのが、やばいの一つ目に書いております通り、二次元動的FEM解析、地震時と重畳時については二次元のFEM解析、3、
0:06:39	津波時につきましては、3次元のFEM解析の解析モデルに、定着部材をモデル化した解析でられる、とこうばねの反力としております。こちらは図の左下に書いております通り、
0:06:52	止水目地の解析において、膨張での、
0:06:56	標準部の断面に、緑色で書いている止水ジョイントの定着部材をモデル化した評価をしますが、その定着部材とセメント改良度間に設置する工場での反力、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:08	こちらでは
0:07:11	ラージF×ラージF始良人増え、Z方向ごとにへと書いてございます。
0:07:18	また、図の真ん中の図になりますが、こちらはもう一つのゴムジョイントの常緑により、定着部材に作用する引張力の図になってございますが、
0:07:29	ゴムのゴムジョイントに水圧が作用したときに、引張力とせん断力が、年定着部材に作用いたしますので、うちの引張力をスモールFZ
0:07:40	せん断力をスモールF×と記載しております。この江藤ラージFとスモールFの荷重を足し合わせたものを、アンカーに作用する荷重として考えます。
0:07:53	続きまして、丸野衛藤三つ目、こちらでは、アンカーボルトの評価に使用する許容限界の考え方を記載してございます。
0:08:07	許容限界につきましてはアンカーボルトに作用した、各方向XYZの各方向に対する抵抗方向を考慮して、タテ方向という方向横方向の1組の
0:08:19	アンカーボルトの絵と今日引張力と許容せん断力を足し合わせて評価することを考えてございます。
0:08:25	こちらトレーを、右下の絵と図2をもとにご説明いたしますが、例えば、Z方向に荷重が作用した時、
0:08:35	今、衛藤図の赤の矢印の方向に荷重が発生するということが考えられますけども、縦方向のアンカーボルトでは、
0:08:46	Z方向が発生したときに引張方向に抵抗する。
0:08:49	横方向のアンカーボルトにつきましては、せん断方向に抵抗すると、そういうことは考えられますけれども、Z方向の荷重に対してはこの江藤タテ方向の引張耐力と、
0:09:01	横方向のせん断許容せん断力をそれぞれと足し合わせた値を、環境限界とすることを考えてございます。
0:09:09	この2方向ごとに荷重と限界値を用いて評価することを考えてございます。
0:09:16	丸の四つ目になりますが、こちらは、
0:09:20	許容限界値ただ量限界にですねアンカーボルトの引っ張り方向とせん断方向が混在する時、これはX方向とZ方向になるんですけども、こちらにつきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:31	片方のアンカーボルトに荷重が偏ることが考えられますので、アンカーボルトの荷重の分担比率を考慮した影響検討ケースを実施することを考えてございます。
0:09:43	こちら影響検討ケースの詳細につきましては、次のページに、9ページでご説明させていただきます。9ページをお願いいたします。
0:09:55	で、
0:09:57	丸の一つ目になりますが、X方向とZ方向の荷重が作用したときには、
0:10:03	材料荷重に対するアンカーボルトの引っ張り方向とせん断方向に生じる変位の比率が、
0:10:12	Aの比率こちらへと弾性係数等てますけれども、こちら、後述するアンカーボルトの性能試験の結果を見ても、引張とせん断で概ね9対1であることがわかっております。
0:10:26	また、そちらの弾性係数については、もうばらつきがあるということがわかっております。
0:10:34	また、それとですね、定着部材の荷重はゴムの張力が定着部材に作用した時の定着部材の変形の影響があると考えられますので、
0:10:45	実際にこの片方のアンカーボルトに荷重が偏ると、そういうことが考えられます。
0:10:53	衛藤、丸野、二つ目になりますが、定着部材の変形の影響につきましては、
0:11:01	止水ジョイントに作用する荷重のうち、引張力、ゴムの張力による引張力がどう支配的であるということを踏まえまして、
0:11:12	下の二つの矢羽根いじめ数量許容限界の定着部材のモデルに引張ゴムの張力の引張力を作用した解析を実施し、荷重分担を決めることを考えてございます。
0:11:27	矢羽根の方、山根の一つ目になりますが、まず、前提としてアンカーボルトの位置の固定条件につきましては、アンカーボルトと定着部材を溶接して固定するので、
0:11:38	旧溶接による曲げ剛性を考慮すると、モデル化は固定さんを基本とすることを考えてございます。
0:11:45	ただし、完全な固定条件ではなくて、アンカーボルトによる引張力とせん断力、定着部材のマーケット、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:54	セメント改良度からの反力のバランスも考慮して、回転の影響もあると考えまして、今日限界は固定短もしくはヘッドピン時点の組み合わせとすることを考えてございます。
0:12:06	今野衛藤。
0:12:09	丸野へと三つ目になりますが、定着部材の身近手方向の変形による影響を考慮した、直交するアンカーボルトの荷重分担につきましては、右下の表2の通りでありまして、
0:12:21	アンカーボルト、
0:12:23	の縦方向に最大74.3%アンカーボルト横方向に最大45.4%を採用すると考えてございます。
0:12:31	衛藤右下の表のご説明させていただきますが、こちらがすみません、先ほど防災、冒頭でご説明した通り一部江藤記載の誤記がございます。
0:12:44	表の中で
0:12:48	フレーム解析のモデルが四つ並んでおりますが、そのうち右の絵と二つのモデルについて、衛藤端部の境界条件とフレーム解析の境界条件が表の記載と絵がちょっと合っていないということ、動きがあります。
0:13:04	具体的に言うと、右から二つ目のA棟になりますと、表の記載ではアンカーボルト縦方向が、上階条件固定丹。
0:13:14	横方向がピン固定となっておりますが、こちら図面の方が正となっておりますのでちょっとこちらの記載の方が、
0:13:23	上下が江藤逆転、越冬するナカセになりますすなわちアンカーボルトの縦方向が、ピン固定、
0:13:30	横方向が固定短ということが、衛藤オオキ先生の記載になります。
0:13:36	また、一番右の解析モデルにつきましても図面が正ですので、
0:13:44	基本表中の記載、アンカーボルトタテ方向固定短と書いておりますけれども、こちらご提案ではなくてピン固定が正しい規制になっております。
0:13:56	江藤こちらの投票で当協会条件を変えてフレーム解析を4種類やりまして、その中で、縦方向の荷重分担が一番大きくなる。
0:14:09	左から二つ目の条件の時のとか十分と74.3%。
0:14:14	また、横方向につきましては、こちら、右から二つ目の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:20	フレーム解析したときに、出てくる荷重 45.4%、こちらが最大採用するということが考えられますので、これを基に影響検討ケースを衛藤ケースを決めております。
0:14:35	続きまして 10 ページ、お願いいたします。
0:14:42	こちらのページでは影響検討ケースの荷重分担等について、
0:14:47	決定した分担比率についてエンドウご説明しております。
0:14:53	分担比率につきましては、
0:14:57	今の左したの、
0:15:00	表で、営業検討ケースの荷重分担について影響検討ケース①と、影響検討ケース②と、それぞれ X 方向と Z 方向、それぞれ荷重が寄ったときの分担比率を考えてございます。
0:15:14	影響検討ケースにつきましては、こちらへと横方向のアンカーボルトの引っ張りに荷重が 100% 伺ったとき、かつ、Z 方向の縦方向に引っ張り 200%。
0:15:26	かかったと 2 方向に荷重がかかったときの想定をしております。そのがですね、右側に図で書いておりますけれども、矢印で書いてある方向に 100%、
0:15:39	十勝分かった時のケースを影響検討ケース①としております。
0:15:47	で、もう一つ、影響検討ケース A と②になりますが、こちらについてこちらは、
0:15:56	X 方向の荷重は、縦方向のアンカーボルトのせん断に 100% かかったとき、Z 方向の荷重につきましては、先ほどのフレーム計算の中身載っております、
0:16:06	結果に基づきまして、タテ方向については 54.6%、横方向については 45.4% といった荷重の分担比率で、
0:16:16	アンカーボルトの照査をしたケースを影響検討ケース②として考えてございます。ただ、影響検討ケース②につきのにつきましては、Z 方向の、
0:16:28	かち床、
0:16:30	アンカーボルトの縦方向に、
0:16:32	採用した時 54.6% 書いてますけれども、こちらについては影響検討ケース 1 の分担よりも小さいので、検討ケースケースの 2 番では、この

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:43	縦方向なんか分引っ張りの評価は衛藤割愛することを考えてございます。こちらの絵につきましても右側の図にですね、矢印の方、赤と青の矢印の方向に荷重火災をした時のことを考えて、
0:16:56	当ケースを設定してございます。
0:17:03	続きまして11ページ、お願いいたします。
0:17:09	こちらのページからは、参照アンカーボルトの性能試験、指摘審査会合における指摘事項に対する回答を含むということで、以前いただいた江田指摘事項に対する回答を、
0:17:22	アンカーボルトの性能試験の結果に踏まえてご説明しております。
0:17:27	で、こちらのページの江藤丸。
0:17:30	二つ目の衛藤丸尾追記してございまして、前回以前第1111回の審査会合で、アンカーボルトの性能試験は、単体配置のアンカーボルトを想定して実施すること。
0:17:43	説明いたしました、変形変更後の止水ジョイントの構造についても、2章の中身で説明しております通り、引き続き、アンカーボルト単体配置とする。
0:17:55	ということをするところから、アンカーボルトの性能試験の方法の変更は不要であるという記載を追記してございます。
0:18:04	で、12ページ以降の当資料につきましては、衛藤文章表現の修正衛藤のみとなっておりますので、説明は割愛させていただきたいと考えております。
0:18:16	あと資料のご説明は以上になります。
0:18:20	規制庁藤原です。質疑に入りたいと思いますけども、ちょっと今回の新パワポの資料ってすごいわかりにくいのでちょっとまず、北海道へ行くやろうとしてることがちょっと何であるかっていうのをちょっと、
0:18:31	まず事実を確認を入りたいと思います。
0:18:39	規制庁の三浦です。ちょっといろんなコメントもありね、ちょっとやり方がすごく複雑になってしまっていて、かえってわかりにくいところもあるので、ちょっと確認をしています。
0:18:49	どういうやり方をしてるか、今ご説明なられたんですが、
0:18:53	ちょっと同じようなことも繰り返すかもしれません。
0:18:55	まず最初、パワーポイントで言うと8ページの部分かな。
0:19:00	まとめだと127ページからですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:06	先ほどおっしゃられたように、解析1から、Large F X M i F z。
0:19:13	この三つの力が出てきますよね。
0:19:15	解析2からスモール F Y エア F X F。
0:19:20	Y F z これできますよね。
0:19:23	で、
0:19:24	X成分の
0:19:26	だから、ラージ F X とスモール F X。
0:19:30	この合力と、
0:19:32	あと、ラージ F セット、
0:19:36	等、
0:19:37	スモール F Z、この合力。
0:19:39	これらと、
0:19:43	アンカーボルトの引っ張り、
0:19:45	頭せん断の許容。
0:19:48	共用強度、許容値、許容限界、これを他者したものと、照査するケースを基本ケースとします。まずそれは正しいですか。
0:20:03	北海道電力の千葉です。今、おっしゃっていただいた衛藤方針になってます正しいです。わかりました。次に、それで調査した結果、
0:20:16	次が、
0:20:18	パワーポイントの
0:20:21	影響検討ケースの部分ってのはあれですね10ページですか。
0:20:27	まとめ資料と145かな。
0:20:30	それを、先ほどお話をしたことが基本ケースとしてやります。
0:20:36	次に、
0:20:38	影響検討ケースとして、
0:20:40	根井。
0:20:42	現況システムケース1っていうのは、
0:20:44	実験によって、アンカーボルトの引っ張り弾性係数せん断弾性係数、これをチェックしました。
0:20:51	そしたら、引張弾性係数の方が9倍9対1ぐらいの割合になります。
0:20:56	それを、
0:20:59	勘案して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:01	案。
0:21:02	各方向X方向とZを取り出してんですが、
0:21:06	それに対する力を
0:21:08	各アンカーボルトその方向の引っ張りだけで持たせるように設計をします。
0:21:15	ていうのは経営現況係数呉エンキョウ検討ケース。
0:21:19	プラスですね。
0:21:20	例えば力が、ラージF X F X スモールF Xの足し合わせに関しては、
0:21:27	横方向の引っ張りだけで持つような設計をします。
0:21:32	Z方向に関しては、縦方向の引っ張りだけで持つように設計をします。
0:21:38	わけですねそれが影響検討ケース1、
0:21:41	影響検討ケース2っていうのは、
0:21:45	この最初の方のせん断でタテオクノセンナの100%持たせるってのはよく、ピンとこないところもあるんだけど、
0:21:52	先ほど言ってた肥田9ページですか、9ページの下に載せてるように、
0:22:00	境界条件、これ一丹波方向ですよ、短辺方向の調査のときの境界条件がいろいろ不安定な不確実性があるので、その不確かさを考慮します。
0:22:12	そのために、影響検討ケースっていうのは、主軸であるF Z ラージF z スモールM Z、
0:22:22	この場合の一番、横方向の上側かな、上向きかなが厳しくなる、45.4%。
0:22:33	これを横方向のせん断負担分として1000グラムの許容限界と
0:22:40	各供養限界内であることを確認をします。
0:22:44	というのが、影響検討ケース1であり、影響検討ケース2、
0:22:49	ということの理解でいいですか。次。
0:22:55	北海道電力の千葉です。今、三浦さんがおっしゃっていた通り、その通りの考え方です。以上です。
0:23:02	今、お互いの多分やり方の認識は、あったと思うんですけど、そうするとね、
0:23:11	ちょっと疑問に思ったのが、
0:23:13	今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:14	X方向Y方向、Zエコ、それぞれ個別にチェックしようとしてますよね。
0:23:22	でも実際は、
0:23:23	例えば何のケースで決まるのかよくわからないけれども例えば余震と津波だとすれば、
0:23:29	慣性力として入ってくるものとかあと、
0:23:33	施設イメージで入ってくる中から、これって同時に起こる力って考えるのが普通だと思うんですが、
0:23:42	各方向の力を単独にチェックするってのはどういうふうな意味合いがあるんですか。
0:23:48	要するに何か、同時に考慮しなかった。
0:23:51	なぜ、
0:24:05	そうだね、FX。前もちょっと話したけどX方向ってほとんどこれしかない。はいないですよ。
0:24:11	来年でこれはもうスモールで無視しちゃっても構わないかもしれないんだけど、方向に働いてる力と、
0:24:19	Z方向にしか働いてる力が習熟だと思うんだけど、それを同時に考慮しなかったのはなぜですかというのが私の質問です。
0:24:40	北海道電力の佐藤です。衛藤ミウラさんがおっしゃった同時というのは、組み合わせの古藤でよろしいでしょうか。
0:24:48	それでしたら、
0:24:50	まずですね今回それぞれでまず調査した理由なんですけども、
0:24:57	一番
0:24:59	スライドの、
0:25:02	9ページ目ですかね。
0:25:05	※2に記載している。
0:25:09	所。
0:25:10	ここに、F、ラージFX、FIFZの値。
0:25:15	書いてまして。
0:25:18	FXは0.3、Fiが10.3、LZが出ると。
0:25:23	ゴム聴力のところ、
0:25:24	スモールの辺り書いてますけどもスモールAセットが29.8、FXは0ということで、
0:25:30	ここを見ますと、まず一番大きな値からFZで29.8という大きな力があります。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:37	その他の力でF Iというところが、
0:25:42	ゴムジョイントのくっついてる定着部材と、
0:25:48	セメント回路のずれの部分で出てくる力ですので、これが2番手で大きいというところで、ここは確かに一緒になってくるところになります。
0:25:59	衛藤。
0:26:01	まずそれぞれ単体の力で調査した結果を今回まとめ資料の方には記載させていただきました。
0:26:05	実際
0:26:09	そこを踏まえて今組み合わせの検討はしていないというところなんですけども、
0:26:15	一方で荷重分担高齢者影響件数ケースにおきましても、組み合わせの検討は、チェックはしてまして、
0:26:23	それでも成立することは確認はしております。
0:26:27	谷内町長の皆さん、今、僕ちょっと御センナれたようにね。
0:26:30	F X数はもうほとんど小さいんですよ。不具合だけが10.3か何かあって、Z方向の49に対して、三分の1-1から、これ何らか考慮しないとイケないと思うんですよね。
0:26:41	で、方針なんで、もう今、計算の中身は、それが設工認でやればいいんだけど、ちゃんとこれは、
0:26:51	もう、X3が無視しても構わないかもしれんけどYZの組み合わせはちゃんと考えるんだっていうことをきちっと方針として示しておいてください。
0:27:02	北海道電力の佐藤です。はい。
0:27:05	検討はしてありましたのでその旨、きちんと方針として、
0:27:12	あとYとZの組み合わせも考慮しているというところ。
0:27:16	資料に記載したいというふうに考えてます。そうですねそれとね。
0:27:20	これ、結局それやったら影響検討ケース1、
0:27:26	とか、1から1を主にやってしまうってことは、基本的に働いてくる力に対して全部、
0:27:34	アンカーボルトに引っ張りとれるような設計をするって、
0:27:37	言ってるわけですよ。
0:27:39	そうするとね、基本ケースって一体何なんだったって話になるわけ。
0:27:44	今は生じてくる力に対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:47	引張とせん断力の足し合わせ、
0:27:51	これでチェックします。基本ケースですって先ほどちょっと方針を確認しましたよね。でも、
0:27:56	次の影響検定件数ではやっぱり 100%をアンカーボルト引っ張り持たせますっていうことを言ってるわけですよ。
0:28:04	そうする基本ケースの意味って何もないわけですよね、きっと。
0:28:07	なので、
0:28:09	それならば、もう基本の方針として、
0:28:13	基本的に、組み合わせ応力先ほど組み合わせてる応力に対しては、もう全部引っ張りで例えば持たせます。Y方向千田ノモト下釜ないんだけど、
0:28:23	もうそそれを方針として主にしちゃえばいいと思うんですよ。
0:28:27	阿藤。
0:28:28	計量検討件数には、確かに境界条件のばらつき不確かさを考慮して 45%見てる。
0:28:36	それはそれで方向性としては正しいと思うし、
0:28:40	だから、もうそちらを計算とかじゃなくて設計の主軸にした方がかえってわかりやすいんじゃないかなと思いました。
0:28:48	基本ケースってことで、
0:28:50	南野委員同じチェックをしてしまったから設計を決めないケースが基本ケースになってしまってるので、
0:28:56	ちょっとその辺のところ、何か再整理があってもいいかなというふうに思うんですがいかがですか。
0:29:07	ちょっと事業者側で相談させてください。
0:29:20	基本的に何言ってるかっていうのは、設計やっぱり決めるケース。
0:29:26	が、設計のベースケースであるべきだと思うので、
0:29:30	あまり意味がないものを設計ケースにしてしまっても、しょうがないかなっていう気もちよとしたんですよ。
0:29:38	だからそこんところを、かえって何か基本ケースとその影響検討ケース 1 についていうので、中身がわかりにくくなっちゃってるかなっていう気になりました。
0:29:49	どうぞちょっと話し合って、
0:31:32	ニシウラですけど、
0:31:34	全体的な設計の流れとして先ほど言ったように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:37	もう英語検討ケースを設計の基本ケースにしまって、
0:31:40	基本的に生じる力に対しては、アンカーボルトの引っ張り分だけですべて持たせるんです。
0:31:47	で、ただし、
0:31:49	そのせん断方向に関してはフレームモデルの不確かさを考慮してやってせん断部分を45%ぐらいは見て設計をするんです。
0:31:59	トータルしてしての設計は、約145%ぐらいの設計になってて、
0:32:05	1からに対して非常に余裕があるものになってるんです。
0:32:08	という話になってくれば、アンカーボルトの比率、旋盤へ引っ張り飛散が何にも必要だと思いますよね。
0:32:15	という意図でつくられたのかなと思って。
0:32:18	今そうもしもそうならばそういうふうな方針を立てられた方がいかなというふうに思ったんですが、
0:32:25	いかがですか。
0:35:14	衛藤北海道電力の佐藤です。事業者内の話を終わりにして、
0:35:21	今、基本ケースから影響検討ケース12としてる流れ、こちらの流れがちょっとわかりづらいというところもありまして、
0:35:30	基本ケースとしては、今やってる営業検討ケース1のところで、基本的には光で負担するという考え方。
0:35:38	そして、
0:35:40	せん断かかった場合というところの、
0:35:44	を影響検討ケースとして、設計を取りまとめさせていただきたいというふうに考えます。
0:35:50	以上です。
0:35:53	三浦です。今言われた方針でいいと思うんす組み合わせの件と、それもちょうと付加しといていただければ、組み合わせ応力に対してイマイらされた、
0:36:02	話されたような方針で設計されているならば、
0:36:05	十分講習があったということはいえると思いますんで、よろしくお願ひします。
0:36:25	お話をね、
0:36:28	一つはもちろんロジックをちょっと整理していただいて、もっとだからシンプルになるんだらうと思うんだけど、それとあわせてちょっとフローチャートも一緒に作ってもらえます。
0:36:39	うん設計フロー。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:41	だからロジックを整理してそれと順番と合うようなフローをちょっと作っといてもらえば、
0:36:47	それ、どういうそのフローは意味を持ってるかも含めてね。
0:36:51	その他非常に聞いている人間はわかりやすいと思います。
0:36:56	もうそれだけで方針として十分だと思います。
0:36:59	いかがですか。
0:37:02	北海道電力の佐藤です。衛藤。
0:37:05	今の基本から、せん断の影響検討そして曲げとせん断。
0:37:11	うんーアリタせん断についての組み合わせ、そういったところの考え方、フローにまとめて説明できるようにいたしたいと思います。
0:37:19	以上です。ます。
0:37:25	規制庁藤原です。私、ミウラと、今そちらの北電とのやりとりでも大分、私もなんか頭がようやく、この資料すごいわかりにくかったんで、す。
0:37:36	例えば9ページですかねパワポの
0:37:39	9ページの一つ目の丸と二つ目の丸がそれぞれ強権凍結010にそのまま該当していることが、なかなかちょっとわかりにくかったのが今回、
0:37:49	影響検討ケース①が基本となったときに、そういうのはあるんですけどちょっとそのわかりサカタという関連性をちょっと欲しいんですね。ちょっと私がちょっと特にわかんなかったのを、
0:38:02	心としては、09ページのなんですかねこの右下の梁要素で、解析ミューズがあってこれが一体何の目的でやっているのかっていうのが、
0:38:14	この右下の図と左のイメージ図との関連がちょっとわからなかったんですねで、今のミウラとのやりとりの中で要は、今この梁モデルでやるのはあくまでも、
0:38:27	せん断ですからアンカーボルトのせん断を保守的に評価するためにやるものっていうのはまずこの
0:38:35	ここに記載がわからないんですよなんか10ページにもしかしたら何か10ページからどっか書いてあるかもしれんですけど、
0:38:41	ちょっとそれがないので、まずそこを明確にしてくださいこの目的、影響検討ケースの目的ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:46	そして線ダーンのために解析2をやると、都築技監をやるとするときに、そのモデル化の保守性という観点もそこにちょっと付け加えていただくとよりわかりやすいのかなと。だから、
0:39:00	例えば何ていうんすかね。
0:39:02	今これモデル化って完全に梁になってるから例えば定着部材とセメント改良度との間の付着スウェイトと摩擦も、せん断摩擦もそうですけど、引っ張り方向の付着も完全無視してますよね。
0:39:14	そういったところも多分保守的な状況だと思うし、あとは何ていうんすかね仮にそのアンカーボルト涌井だと、
0:39:21	仮定センスの杭がその何ていうかね横ほあ i n c h 方向の杭でありますので、横方向にかじかかったら横方向のババ値とか本当はあるけども、多分それ無視したほうが保守的。
0:39:32	要は固定た或いは品の方が保守的だとか、
0:39:35	せん断に立った施設の保守的な条件であるということをやった上でも、それが影響検討だと。
0:39:42	かなと思うんですけど、そういうわけでもないすかね。
0:39:49	規制庁だけです。方針考えたのは当然ね、ゼネコンが考えてるんだと思うんだけど、何て聞いてんの。
0:39:57	そちら考えて設計するわけじゃないから、瀬古が請求するでしょうねとか。
0:40:01	ズバツという基本計算会社があるわけだよ。
0:40:06	そこが考えてきてるんでしょって話で、
0:40:09	これこれ考えてみると普通土木の設計でいうと、
0:40:12	国との設計、
0:40:14	当方、考え方が似てるな。
0:40:17	とは思ってる似てるなっていう、いわゆる、
0:40:20	基本的には多分、
0:40:23	アンカーボルト等定着部材プレートは、
0:40:27	完全固定なんだよね。ある意味、
0:40:32	なんだけども、基本的には、そこで不確かさ。
0:40:36	ていうのがいろいろあって、場合によっては、
0:40:39	ピンの状態にはなり移った時にも、
0:40:41	その変動がどのような影響を及ぼすかっていう、
0:40:45	影響を確認してるってことなんですね。
0:40:48	杭も基本的にスラブに安らぐに飲み込ませて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:53	A型B型って、
0:40:55	2種類あるけど、それでも基本的完全固定をね、
0:41:01	規定しているんだけど、場合によってはそこがヒンジになった場合、クリタそのものが厳しくなったりするんで、
0:41:08	そういった検討も一応念のためにしておくっていう。
0:41:11	暗黙の了解がありますよね昔からの設計として、
0:41:14	そういった意味合いでこれやってるのかなと思うんですけど、そうではない。
0:41:25	当北海道電力のサトウですクリタ井品というところはちょっと想像しなかったんですけども、というのを今、
0:41:42	今
0:41:45	固定具合というところの、
0:41:49	完全固定化、それが完全固定とみなせないっていうところでピンという、ゼロヒヤクの世界のところでちょっと考えていて、
0:42:03	はい。
0:42:05	ええ。
0:42:09	ちょっと杭の2例、
0:42:12	を考えたときの深さの観点で、確かにそれで曲げが取れることも、水平ばねとして、
0:42:18	考えられるんですけど、実際今、せん断がシアツで決まっているのに浅いところで決まってくるのでそれほどそれに期待して曲げを取ろうとはちょっとしなかった。
0:42:27	てところですね。
0:42:38	規制庁の考え、規制庁の江寄ですけど、全体としてね、多分、
0:42:42	ここに関してはここの部分で説明すればいいと思うんですけど設計としても、基本的には、
0:42:47	アンカーボルトの、
0:42:50	引抜きだけを主に期待している。
0:42:53	しかも、アンカー一部とは、
0:42:56	アンカーボルトそのものが、
0:42:58	コークス。
0:43:00	潜航降伏するように、破壊するの先行が母、赤井。
0:43:05	方に一応設計としてしようとしてるわけですよ。
0:43:09	そういうことによって
0:43:12	逆に言うところこういったことは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:15	あまり気にしなくても考慮しなくてもいい、設計省略できるっていう部分も出てくると思うんですよとかそういったことを最初に全般として説明した上で、じゃあそれをどのように説明していくのかっていうことで、
0:43:26	詳細に入っていけばいいと思うんですけど。
0:43:29	わかります。そのためには当然そのフローチャートって出てくると思うんで設計としてですね、考え方があって、その考え方に応じてどういう設計フローがあって、その設計フローを成立させる。
0:43:41	させるためのその成立性をどのように説明すると、実験といろいろあるわけですよ今ね、こういうような、
0:43:47	話が9ページの話であると思うんでそういうような話で説明していくと、
0:43:51	いろいろその設計方法を、を成立させるために言うと、何と何が課題でな、どのそれはその課題に対してどういうアプローチをしてか、こう決めたのかってのわかるように、
0:44:02	順序立てて説明してもらったほうがわかりやすいと思う。
0:44:07	ただ設計フローのここに関してはコウニッタと制圧のね、適応性が書いてありますっていうふうに感じで飛ばしてもらったりすると、やっぱりわかる、わかりやすい資料になるかなと思いますけど。
0:44:18	一応、感想ですけど、
0:44:21	北海道電力の佐藤ですご指摘の趣旨、理解した。
0:44:25	と思います。ちょっと実際フロー変えてみて、もうちょっと頭悩ませたいとは思いますが、藤。
0:44:34	藤原さんがおっしゃってくださった影響検討ケースの目的、あとこの辺の給油すらのモデルとの繋がりとか、あとモデル化のところの保守性おっしゃった通り付着とか無視している状態ですので、その辺も資料として、
0:44:48	過不足なく記載できるように、修正かけたいと思います。
0:44:55	はい。
0:44:59	以上です。
0:45:01	九州社です。わかりました。で、もう1点ちょっと、これまでの話の流れというのは、原則的にその弾性状態がまず大前提であるということはもうちょっと何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:14	やらないと例えばですね何か至るところに関しての懇話会だとか、いうところがあってあたかも何か弾性を超えた領域の中、
0:45:24	破壊領域まで何か考えているかのようにも見えるかのように見えるって言います。で、何が言いたいかというと、
0:45:31	6ページとか、7ページとかで示してるこいつは、
0:45:36	何なんだ。
0:45:37	要は、これせ、何だろう、許容限界のに使っているのか、それとも単なる配置、或いはアンカーの水の試験だけに、
0:45:48	ためだけにこうやっているのかっていうのが多分ありますよね。そこはもうちょっと何か整理した方が、
0:45:53	いいんじゃないですか。いや、これで言うとなんか何となくですけど、要はこういった破壊領域も含めて、
0:45:58	じゃあ、一番血の教育委員会、どこまでいってるんだって肝なんか見える。
0:46:03	ですけど、実際やってること違うんすよね。要はただ配置決めただけですよこれって。
0:46:09	そういうわけでもないんですけど。
0:46:11	です。
0:46:14	単体は1分にするためだけでそれはそれで、要はあと弾性状態立つ
0:46:22	もうそんな。
0:46:23	ここまでの破壊は行かないけど一応配置はここまで。
0:46:26	配慮してますよっていう位置付けなんかかなと思うんですけど。
0:46:29	す、じゃないと弾塑性解析だとかあと、もっと応力の左右する範囲がどうだとかいう話が、いやこれとの関連が何かよくわかんなくなってくるんですね。
0:46:41	んなんだろうなというところがあって、その辺どうですかね。
0:46:58	規制庁の江寄ですけど、7ページのエミ見ていただくと、多分、一番左はイシタのヒガシヤマナカって話ですかね。
0:47:09	ここに今直行方向するウエマツ呉直行方向の
0:47:17	方が端に書いてあるけど、こうした状態でこれが、
0:47:21	ない状態で設計されている機器、期待してるわけじゃないですよ
0:47:25	ね。
0:47:25	ちょっと。だから、基本的には、
0:47:27	お互いにそれは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	力がそこには分散値はかからなくても、持ち得るってことで考えればあまりそんなに、
0:47:36	離隔はきくそれほど気にするほどではない。
0:47:39	という観点からすると、特にここの説明がないかもしれないねだからどういう設計のスタンスにするかによって変わってきちゃうんじゃない。
0:47:53	実際のその3次元の解析を行った時はチェックは必要だとは思いますが、
0:48:36	はい、回動電力の立田です。
0:48:39	ちょっと最初指針の適用性にこだわり過ぎてこんな、まず、応力分、応力が重ならない。
0:48:50	絵をちょっと見せたところから始まってしまっていたのが、
0:48:54	ちょっと原因かなと思っていて、
0:48:56	ちょっとトーセイこのアンカーの試験案カノウ話にしてはついてはですね、この応力の6すら7面の話は、
0:49:07	アンカーボルトの配置計画、あと解析の方で出てくるところの重要なところなので、
0:49:15	今回の
0:49:17	まずは、
0:49:19	アンカーボルトで決めるんだっていうところと、
0:49:23	実験の結果
0:49:26	この範囲には全く影響ないというところから見えてきてますので、
0:49:32	ちょっとこの、
0:49:33	始まらオクすら7面の位置をちょっと考えさせていただいて、
0:49:39	ちょっとこのスズエコウならないように、配置計画を決めていくんだというちょっとそういうところにちょっと、
0:49:47	一応、ちょっと見直させていただきたいと思いますちょっと設計フローとも関連するかもしれませんが、ちょっとあわせて整理をさせていただきたいと思います。
0:57:01	規制庁藤間ですちょっと今庁内で打ち合わせをしましたのではい。今それ終わりましたので、じゃあ、ヒアリングの方、また、
0:57:07	始めたいと思ひまして、
0:57:10	土肥。
0:57:11	同じような話で11ページのところですかね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:15	ここで%本 11 ページでこれがだから大昔出したアンカーボルトBというやつが、要は昔はソネナカノズ引っ張りとかせん断組み合わせが出なかったっていうところを出してるぜ。
0:57:28	今回は何かもしかしたら出るかもっていうところがあったところ、
0:57:32	ここで何かいろいろと単体配置だから大丈夫ですと
0:57:36	一応言っちはいるものの、あそこ、今日の議論を踏まえて何かいろいろと多分、まだ、なんすかね。呉説、説明のロジックを変えてくって書いた方が、
0:57:47	いいように思います要は単体配置だから、
0:57:49	大丈夫ですっていうと何かいまいち、何言ってるかわかんないんで要は引っ張り、
0:57:54	が基本であってあとセンナワダもしかしたら
0:57:57	影響検討ケースなのかもしんないすけどそれ以前の話として、そもそもとして何だろう。
0:58:04	この性能試験をそのまま使う場合においては、引張とせん断が両方かからないような状態で設計するのかとかですね。
0:58:14	或いはそこら辺がちょっと何か、
0:58:17	別に今は宇津そういうふうに物を言ってるわけじゃなく、単純にその
0:58:22	使えるロジックをきちっと説整理は必要です。たった1だけだとよくわかんない。ちょっと繰り返しちゃったんすけど今はよろしいですかね。本店が。
0:59:04	北海道電力の千葉です。今、衛藤事業者内で調整、至急です。
1:00:56	はい。北海道電力の辰田です。ちょっと事業者側での協議を終わりましたので、
1:01:04	ちょっとこの回答、注意面のスライドが小前野。
1:01:11	明治目じゃないファイルアンカーボルトの、
1:01:15	指摘対応指摘事項ということと、
1:01:19	あとそれに対応する、後段にある試験、性能試験の結果を示したところの関連していくところですので、
1:01:28	それが使えるよということをちょっとご説明するのに、ちょっと具体的には該当蓋二つ、二つ目の丸のところをちょっと修正をさせていただきます。と思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:39	統率具体的にはアノー今引張試験とせん断試験それぞれやっ てございますので、
1:01:45	それが今回イセサクマ前先ほどの今指摘もありましたけども、
1:01:52	設計の基本ケースを何にするかというところと、
1:01:56	基本ケースとして、
1:02:00	するところの整理も含めて、
1:02:06	今までは、やった性能試験の結果と、設計の方針があつて るかどうかというところ使えるんだというところを記載でき るように、
1:02:15	記載の方中、修正させていただこうと思います。以上です。
1:02:22	規制庁シゲマスわかりました。実際にどんな力がかかるのか とかいう点は何か、なかなか言いづらいところですかね。
1:02:52	でも、
1:03:01	結構
1:06:19	はい北海道電力の辰田です。ちょっと事業を社内事業、事 業者側でちょっと協議してました。
1:06:26	衛藤。
1:06:27	特殊てキーの、
1:06:30	趣旨としては熊田。
1:06:33	始まりがアンカー試験の
1:06:37	性能試験をコウ、
1:06:39	6.5 ニュートンのセメント改良でいけるかどうかという ところをまずご説明をするところから、
1:06:44	まだ始まっていたところもございますので、
1:06:47	設計方針、
1:06:50	と等
1:06:52	参加試験の性能試験のちょっと、
1:06:56	それぞれの考え方、あと性能試験でない。
1:06:59	もう使えるという引張試験は設計の方針ですね。
1:07:03	そこで引張試験をやって、
1:07:06	これで確認できたのでっていうところが、ちょっと資料の 構成上、
1:07:13	まず性能試験を聞いてくださいみたいなスタンスしか なっていると、ころがございまして、あそこも使える んだというところも含めて、設計方針をちょっと考 えて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:31	説明してんだよね。規制庁の江崎ですけど、そもそもそちら言いたかった図は、各種合成指針からこっちの方が使えるんですかって、コンクリートでもないのに、
1:07:41	いいんですかっていうところで適用範囲範囲を外れてますよねって言われていて、いや、実験してみると、使えるんですよって言うてくれてるわけだよねこの中で、
1:07:51	それとともに、
1:07:53	谷口が言ったように、
1:07:55	こういった形態で行った時にですねどういった会形態が先行するのかっていうこともここでわかってきたわけですよ。それを整理すればいいじゃないですかで、だから単体近く、
1:08:05	どうだからどう取っていいわけが強いような書き方しちゃうから話がわかかわからないんで言葉悪いけどね。
1:08:11	ではなくて、基本的に今言った二つしかないはずなんですよ。それがさっき言った一番最初にミウラとか私が言っているような設計の概念と、そのフローにどういうふうには、
1:08:24	はめていくとかっていうことだけだと思うんですよね。
1:08:27	マイク入ってるように、構造変えちゃってるんで、前のコメントは機構、一応もうないものとして考えていけばいいと思うんですけどね。
1:08:37	だから、前のものをある程度引きずって、
1:08:40	それを生かそうとしているから、
1:08:42	ちょっと変な書き方になっちゃってるだけだと思っただけど、
1:11:27	北海道電力のタツザワですと、そ、お待たせしておりました。
1:11:32	当J1すらのは多分大昔のアンカーボルトの構造に対してのサノコメントと、だと思えますんで、いろいろこうわかりにくい記載になってました。
1:11:45	今一度設計方針を設計フローから整理し直して、性能試験でこう使えるというところを
1:11:55	記載をちょっと改めて、見直すこの回答には使い構造見直したというところも含めて、
1:12:03	フローを整理して、性能試験等に使えるという流れについて説明をアノちゅアノ記載を修正させていただきます。
1:12:11	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:26	失礼しましたちょっと性能試験については設計方針を見直した上で、このために使う性能性能試験だというところの記載について検討したいと思います。以上です。
1:12:49	以上ですそうします一応、
1:12:52	事実確認として、これまでの議論を踏まえて、確認の方に移りたいと思います。
1:13:06	はい。規制庁の谷口です。
1:13:10	資料N o。
1:13:13	2-1 かな。
1:13:15	1-2 ですね、1-2-115 ページ目。
1:13:29	ここに書いてある、
1:13:33	7、7-9 の図、
1:13:35	小地震時に、
1:13:37	防潮てに荘司総司る外力って書いてあるんですけど、
1:13:41	これは基本的に防潮てに生じている加わる。
1:13:47	荷重等、
1:13:48	は、こんなハンドが出ますっていうのが書いてあるんですよね。
1:13:55	いかがでしょうか。
1:13:57	北海道電力の佐藤です。はい。その通りです。
1:14:00	そうですね。ちょっとこの辺の表示がね。
1:14:03	この外力とか、
1:14:06	書いてあるんだけど、実際問題としてこれ書いてあるのは、加わってる荷重がこんな荷重が加わってます。
1:14:13	でそれが生じる外力だとか、外力ちゃんの反力です。
1:14:16	ていうことを書いてるのであれば、
1:14:19	この辺の書きっぷりも若干変わってくるかなと思ったので、
1:14:23	外力という言葉が非常にあちこちに出てきてるんだけど、
1:14:28	その辺、荷重荷重、荷重っていう考え方は、
1:14:34	の方がいいんじゃないかなってちょっと思ったんですけど、いかがですか。
1:15:09	はい。
1:15:12	北海道電力の佐藤です。地震荷重だとか反力だとかある中で、タイトルが外力として書いてないので、
1:15:22	ちょっとタイトル適正化したいと。そうですね、ちょっと考えてみてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:26	小コウでいろいろ書いてあることは非常に大事なことが書いてあって、
1:15:31	地震時についてはアンカーボルトと一体化したて、計画部材には管生活福祉監査役の荷重しか加わらない、基本的には個人との協力ないよ。
1:15:44	津波時については、津波による、このジョイントの防潮の張力荷重だけで、
1:15:50	テスト、
1:15:51	この辺は重要な話だと思うので、きっちり書いておいていただくのがいいかなと思います。それでそれを重畳して、設計します。この辺は設計の、
1:16:02	思想なので、この辺が大事な話だと思うので、きっちりこの辺に、ここに書いてありますってことかもしれませんが、何を書くのかっていうところをきっちり
1:16:15	抱えていただいた方がいいと思います。特に例えば、116 ページ目に、上の 7-11 も同じですけど、
1:16:24	津波良いのは、ハートが採用しないからこのアンケートは 6 は登録は操作、これ大事な話だと思うので、
1:16:32	こういう図のところにもちょこちょこっと書くじゃなくて、文章の中に入ってますよっていう話かもしれませんが、
1:16:39	きっちり書いて送っていただくのが大事なかなと思います。
1:16:46	それから、今、先ほど言った話外力っていう言葉を作ったってことは、この辺が、
1:16:55	次に繋がる解析と、1 とか 2 とか、こういうところの人、入力する荷重のこと。
1:17:03	言おうとしてて、こういう書き方になってるんだと思うので、
1:17:07	基本的に解析モデルの 1 と解析モデルの 2 が、今後、この後で出てくる中で、ここに書いてある
1:17:16	外力まあね、要は荷重が、次のモデルにどう変えていくのか。
1:17:22	ていう書きっぷりをして
1:17:25	いただくのがいいかなと思いますので、その辺、次のモデル化の話も含めて、
1:17:31	考え、記載を適正化しておいてください。
1:17:36	それから、
1:17:41	121 ページ目のところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:46	これ、解析のモデルのことが書いてあると思うんですけども、
1:17:52	定着部材の
1:17:54	長手方向のモデルに付加する。
1:17:58	このジョイント荷重って書いてあるんですけど、
1:18:01	ここで言うゴムジョイント荷重ってのは何ですか。
1:18:14	北海道電力の千葉です。まとめ資料 121 ページの第 7-20 図の左側の定着部長手方向のモデルに書いてあるこの COM ジョイント荷重、
1:18:26	これはゴムジョイントに津波発が作用して、それによってゴムジョイントの張力が生じて、その張力が、
1:18:36	その定着部材と接続してる部分に、定着部隊を引っ張る際力が発生しますので、その衛藤ゴムジョイントの聴力のことを指しております。それは、そういうことでいうとさっき、先ほどの例えばね、
1:18:49	117 ページに書いてある。
1:18:54	7-13、
1:18:58	この荷重を言ってるんだと思うんだけど、
1:19:01	これで言う仙台どこのこと言ってるんですか。
1:19:05	引張力なこと言ってるんですか。
1:19:08	北海道電力の千葉です。こちらの衛藤第 7-13 図に書いてあるゴムジョイントによる引張力のことを話してですよ。その辺
1:19:19	ざっとゴムジョイント荷重って書いてあるんだけど、
1:19:22	要はせっかくこういう形で、117 ページで書いてあるんだったらこの辺、もう少しちゃんと説明をしておいて欲しいなと思うんですけどいかがですか。
1:19:34	北海道電力の千葉です。衛藤コメント承知いたしましたその 7 の江藤ニイツの衛藤ゴムジョイント荷重と書いてますけどもその書き方、記載に適正化いたしそうですね。よろしくお願ひします。
1:19:45	それで、今の
1:19:48	長友小のモデルは、
1:19:54	田んぼな条件は固定でいいんですか。
1:20:14	要はこちら方向に関しても要は、拘束条件っていうかな、ダボの条件はどうするのがいいのか。
1:20:23	これで評価しておく方が保守的っていうのか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:27	ピンでやるのがいいのか。
1:20:29	よくわかりませんが、
1:20:31	その辺のやっぱり考え方をきっちり書いておかないといけないかなと思いますけどいかがですか。
1:20:51	ていうことを変えておけばいいんじゃないかなと思う。
1:21:00	東電の佐藤です。ちょっと、この固定負担の理由について記載するようにいたします。はい。はい。のみ身近で方向も同じような形で、
1:21:10	モデルの拘束条件をいろいろとやりとりしてたので、おんなじ
1:21:16	判断というか、そういったものが出てくるかなと思いました。
1:21:21	146 ページ目。
1:21:25	ですけれども、
1:21:30	7-40 の図等、それから 7-11 の図はありますけれども、
1:21:36	ココウの関係はどうなってますか。
1:21:41	表中に、地盤の高さの位置付けや、止水ジョイントのレベルの位置とかそういったものが書いてないんですけど、
1:21:50	このモデルで、A の浸水経路って書いてあるところの、
1:21:57	去年がどれに当たるのかなってちょっと思ったんですけど。
1:22:00	いかがですか。
1:22:11	北海道電力のまつもとですいませんもう一度お願いできますでしょうか。これ、
1:22:17	7-40 と 7 と 11 の図との関係性をわかるようにしておいていただきたいなと思ってんですけど。
1:22:29	北海道電力のまつもとです 7-40 図と 7-11 表との、はいということですか。
1:22:39	そう。
1:22:39	ですね例えば部長天端って書いてあるのが、この 19.0 を示してるのか。
1:22:48	入力津波高さっていうのはこれになるのか。
1:22:52	地盤高って書いてあるんだけど、一番タカオツジって書いてるけど、
1:22:57	一番だからとこの、
1:22:58	まだレベルは決まってないかもしれないけど、
1:23:02	この位置ですっていうのが、何か、
1:23:05	この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:06	上に書いてある図に表示はされないかなと思ったんですけど。
1:23:10	はい、電力の松本です。趣旨承知いたしました。40 図と 11 の関係、対比して、上下見ながらわかるような資料に修正させていただきますはい。ここでシート上の解析の実施にあたって、
1:23:26	40 と 11 条に示す通りって書いてあるので、その辺の関係性をぜひお願いします。
1:23:38	規制庁藤江ですけどこの 146 ページという今回の説明対象ページっていうのが右上の方に書いてますけども、
1:23:45	別のコメントリストだと。
1:23:48	前回エザキとかが申し上げた、せん浸透流解析ではなくて、道路、新党緑化の力のていうのはまだ後日回答なり、
1:24:00	出るので、このページは何か私、今回説明対象じゃないと。
1:24:05	思うんですけど、どうぞ事業者これは審査会合においてこれ、これでしょう。翔亜硝ミツイアノ説明したいという。
1:24:14	ということですか。
1:24:17	電力の松本です今藤原さんがおっしゃられたように、こちらについては前回のコメントを受けて方針検討中でございますので今回の説明対象ではございません。
1:24:27	規制庁藤尾です。一応審査会合において出す資料であって、今回説明対象ページということであるならばこれは一応スーツケースの話が出されるものと思いますので、
1:24:40	もし今回の、前々回のエザキのコメントを、後日回答としてまだ、その方針示さない、ないのであれば、ここは、
1:24:49	中辻谷津かいと思ったんですけどどうなんですか。
1:24:54	北海道電力の松本です。こちらについては随時扱いとさせていただきますと思います大変申し訳ありません。
1:25:01	前回もコメント出してるんで、今日はコメント出さないですけど、
1:25:06	いわゆる
1:25:08	私のコメントって趣旨少し水準と、
1:25:11	どこまで地中に、
1:25:13	飲み込ませるのか。
1:25:15	ていう意味になってくるんでそれを決めるためには、
1:25:19	補助工法があるかもしれないし、それは浸透力という力のつり合い。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:24	そう、いわゆるず発とそれに対する受動抵抗ですよ。
1:25:29	土が抵抗するわけなんで、自動帝国がないところはそれなりの補強しないといけないし、
1:25:35	基本的にはそう。
1:25:38	浸透力といったところだし、シートパイル、もしくはこういう、
1:25:44	浸透しない、ふと不透水層のところで力を押さえている、その不透水層をさらに、
1:25:51	介護から、
1:25:53	発ニッタ浸透力というのは初とかね、圧力に水圧に対して抵抗できる地盤抵抗的なものがある。
1:26:02	地盤抵抗ができないんだったらコンクリートで固めるとか、
1:26:05	鉄筋コンクリート製的な根固めがあるとかですね。
1:26:08	何か必要になってくるってということなんですよ。
1:26:11	そういった意味で、コメントを出してるのは浸透力ですから、その辺はよく理解して、回答してください。
1:26:20	回動電力の松元です。前回のコメントをいただいたのを受けまして、ちょっと力のつり合いで考えるということをやちょっと、
1:26:30	社内でも検討しておりますので考え方がまとめ次第ご説明させていただきます。
1:26:39	それからですね、179 ページ。
1:26:43	田んぼの止水ジョイントの話これ前回も話が出てたところですけども、
1:26:51	セメント化ロードと端部のコンクリート側については、アンカーボルトの配置が違う違ってると。
1:26:58	いう話だったと思いますけど。
1:27:00	ここの7-39の図のところのファンがボルトで配置したところですけど、
1:27:09	179 ページ目ですけども、
1:27:12	ここは奥行き方向に全体配置って書いてあって、
1:27:15	運営、セメント改良とかは単体配置って書いてあるんだけど、
1:27:21	これは何がどう違うんですか。
1:27:28	北海道電力の千葉です。こちらアンカーボルトの配置が端部コンクリート側とセメント改良度側でどう分担配置と、単体配置の考え方が違えてる理由ですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:39	江藤、まずセメント改良外川につきましては、これまでご説明した通り、団体配置として設計することを考えて、試験で江藤確認すると。
1:27:50	それはそもそもそのセメント回路そのものが、各種構成構造設計指針の適用範囲外。
1:27:57	だったから、試験で確認するためっていうことは前提があったんですけれども、こちらの端部コンクリート側につきましては、今コンクリートの設計基準強度 40 キロにとったものを使うことを考えておまして、アンカーボルトを入れるときには、
1:28:12	それは核種構成構造設計士の適用範囲内にありますので、その核種構成構造設計指針の適用性があると、そう考えた時に通常のコンクリートのアンカーを打つ時の設計と、
1:28:26	と同じように、例えばアンカーを軍隊は1年にして配置しても、設計できると、と考えておきますと、あと先行サイトにおいても、このシースイメージをコンクリートに固定するとき、床にクロダ1で、
1:28:40	設計して考えていると、そういうことを踏まえまして、こちらの端部コンクリート側につきましては、
1:28:47	1方向奥行き方向にグンた配置として設計することを考えております。うん。そうすると、
1:28:54	コンクリート側については、軍隊配置でしょうか。
1:28:58	どういった配置として評価するってことですね。
1:29:01	てことは、変えるってことですね。
1:29:04	一般、一般のところと、
1:29:07	北海道電力の千葉です。そのように考えてございます。わかりました。そういう、群としての評価をするというのを、
1:29:15	考えてるということですね。わかりました。はい。
1:29:20	それから、233 ページ目ところです。
1:29:26	これ、全く全然違うところですけども、
1:29:32	傍聴で横断する構造物の地震に対する評価の一覧っていうところが書いてあるんですけど、
1:29:39	衛藤。
1:29:40	基本的に、第2表、
1:29:43	等のところに、1号炉2号の主水路、放水量についてはこういうふうに評価しますと書いて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:51	あって、地震による損傷がないようにするというふうを書いてあるんですけど、
1:29:57	構内排水設備というところで書いてあるものに関して、
1:30:02	下のところに※マークで書いてあるんですけど、
1:30:06	ここで言うコウない排水設備というのは、
1:30:10	防潮ての下に通っている。
1:30:13	配水管だけを対象としてるんですか。
1:30:22	北海道電力の松本です。現時点ではそのように考えております。
1:30:27	はい。天羽。
1:30:28	ちょっとこの辺まだ他のところでも説明されるんだとは思いますが、
1:30:37	他のプラントウなんかの場合において、
1:30:42	特に構内排水設備の考え方のところで、
1:30:45	要は貫通する。
1:30:48	包丁でオカンそうするとところの手前に、
1:30:51	ピットの構造物を考えたりしてるプラントもあるんですけど、
1:30:57	そういったものの考えていうのは、その辺も含めて構内排水設備かなとちょっと思ったんですけど。
1:31:05	でもは時間だけ、対象という形になるのかどうか。
1:31:09	ちょっとその辺を教えてもらってもらえればと思うんですけど。
1:31:13	要は、
1:31:15	他のプラントな、もう今、先に水やってるプラントなんかの場合は、構内排水設備の、
1:31:24	があった上に、防潮角手前で、
1:31:28	SSで一応等は、
1:31:33	耐震性のあるピットを作って、そっから配管を初めからどうしてっていうことをやったりとかしてて、それを考えてるプラントがあるんですけど、
1:31:46	そういった考え方っていうのはあるのかどうか。
1:31:49	要は、ハヤシ、構内設備というところも含まれるのかなとちょっと思ったので、
1:31:55	泊の場合どうされるのかなとちょっと。
1:31:57	聞いてるんですけど。
1:32:02	北海道電力の松元です。現状構内排水設備につきましては今おっしゃられた通り

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:09	スポ朝廷の内側に集水柵というものがあってそこから配水管、防潮堤内舞踏手で外側に出口松というものがある構造になります。膨張ての影響という観点でいくと、
1:32:21	今ここに防潮堤内部の排水管だけを書いておりますけども、前後にあるものが影響するのではないかというようなご趣旨かと思えますので、
1:32:31	そこら辺の考え方もこちらに、
1:32:35	記載するようにそうですね、何となく排水管だけが対象ですって書いてあるので、それ以外のみなのかなとちょっと思ったので、気になりました。聞きました。わかりました。
1:32:47	以上です。
1:32:50	規制庁ごめんなさいちょっと私があわかんなくなってきたんですけど一応、構内排水設備という
1:32:57	言葉、
1:32:58	日本語とあとその範囲の定義っていうのは事業者が定めるものであって、
1:33:06	何だっけな。
1:33:07	回数、例えば排水の角川の方にあるピットと、あとフラップゲート。
1:33:14	フラップゲートが津波防護施設ですよ。そのピットは、その間接支持構造物で、
1:33:21	それは構内排水設備に含める事業者として含める定義として含めるってことですか。今の回答は、ちょっとごめんなさいよくわかんなかったんですけど。
1:33:32	北海道電力の松本です。そこら辺の整理も含めて何が構内排水設備なのかというところをしっかり定義して、説明させていただきたいと考えております。
1:34:02	多分、
1:34:03	防潮底を通過している各部位は、
1:34:07	膨張等への影響をまずは考えて、少なくともSクラス。
1:34:13	いやですから、S s
1:34:15	波及影響は見なきゃいけない。防潮ての、
1:34:18	それとともに、
1:34:20	フラップゲートをつけていが、基本的にそのSクラスの
1:34:25	津波防護施設なんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:27	それを支持している、浮かすししているものはどこなのか、間接支持はし、
1:34:33	だけではなくて、そのいわゆる津波とのね、干渉するところがあるのです。その水の行き来を考えて、その部分に関しては、間接支持だけではなくて、
1:34:44	津波防護施設として考えなきゃいけない部分を、箇所もあるかもしれないすよね。
1:34:49	そういった観点でいったときに、
1:34:55	基本的に同様な、
1:34:57	位置付けで
1:35:00	降雨、構内排水設備っていうのは、
1:35:03	簡単に1個言われてるけど、かなり不ね、機能要件要件がかなり要求機能が結構、場所場所によって違うんじゃないのって防潮庭の中を通過してる中でも、
1:35:14	なんでそれをちゃんと説明してくださいって言うだけだと思うんですけどね。違う。
1:35:23	はい。
1:35:32	はい。
1:35:38	全部。
1:37:32	電力のマツモトです。構内排水設備には何があってそれぞれの要求機能、等というのを整理した上で、防潮での設計上考慮すべきものが何なのかというところがわかるように、資料化させていただきます。
1:37:50	規制庁ちゃうけど、ちょっとナカイ。
1:37:54	この防潮ていうところで説明するのかどうかは別、もしかしたら五条かもしれないけど、そもそも論としてこの構内排水設備という事業者が行ってこいつって、どっかで説明あるんすが、多分その説明がなくて今回、
1:38:07	防潮庭というパーツだけを切り出して何か説明とか何か、こういうふうな話になっているので、
1:38:13	昔タケウチあ、
1:38:16	衛藤。
1:44:37	はい。規制庁藤尾ですちょっと今庁内打ち合わせ中でしたので今打ち合わせが終わりました。では続きまして、質疑に、
1:44:43	引き継ぎたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:47	はい。規制庁大橋です。
1:44:49	パワポのほうの資料の5ページ。
1:44:52	記載程度の話なんですけど、5ページに、
1:44:58	黄色いハッチングの枠の下に※1っていうのがあって、セメント改良度はコンクリートと類似した特性があることの詳細は、
1:45:06	添付資料25で示すって書いてあって、
1:45:10	最初資料1-2の添付資料25のどこにあるか探してもなかなかわかんなくて、
1:45:17	さっき見てたら通し番号の150ページ。
1:45:20	にそれらしきものがあるっていうのがわかったんですけど、
1:45:24	これちょっと目次とか見ても、どこに書いてるかわかんないんで、
1:45:29	もうちょっと諸呉の名前とか、
1:45:32	ページとか、
1:45:34	ちょっと玉田Cをしていただきたいなと思います。
1:45:38	その中身ですけど、
1:45:40	例えば151ページの下の方から⑤番で、
1:45:44	応力ひずみ曲線とか書いてあって、152ページにそういうグラフがあって、
1:45:51	コンクリートと似たような感じで、
1:45:53	0.2%ぐらいで頭打ちになるっていうような、
1:45:57	ひずみがあって、よく見ると、1.27%ぐらいでがくんと落ちてるのも結構あるみたいですが、
1:46:05	概ね、
1:46:07	0.2%っていう感じで来てるかなっていう話とか、
1:46:13	また151ページの方で、
1:46:16	主強度とか、
1:46:18	比に対して引っ張り強度せん断強度の
1:46:21	関係も、
1:46:24	若干落ちてるところはあるんだけどそこそこ。
1:46:28	コンクリートなミイの関係あるなっていうことで、理解しました。
1:46:32	ということで
1:46:34	ちょっと頭だCのところだけ、ちょっと注意してもらいたい。気にしてもらいたいなと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:42	北海道電力の千葉です。コメント内容承知いたしましたこちらの添付資料 25 について示すと書いているところについて、まとめ市衛藤、この資料、後ろの資料の何ページで示すのかわかるように、と記載修正したいと思います。以上です。
1:46:59	麻生。
1:47:08	規制庁藤原です。パウポのですね 3 ページ開いてください。これから先はちょっと記載っていうか
1:47:16	記載ですね、3 ページでですね一応、
1:47:20	内容を見てみると、
1:47:24	イヌマキなり、この表の中で一番左ですか、何か論点というのがボーンと。
1:47:30	出てきてですね。
1:47:32	なんでこの論点がいきなり出てくるのか一ごめんなさいちょっと違和感があります一応ちょっと私はこれまで審査や審査というか、事業者の資料ミキあり、いろいろ見ていわかるんですけど、
1:47:44	やっぱ初めて見る方にとっては何か、なぜこの論点が出てきたのかっていう、経緯、
1:47:51	テーマちょっともうちょっと示した方がいいんじゃないかなと思うんですね多分これ、先行審査実績と相違点をから、この論点が、
1:48:02	まずあぶり出されたというのがまず一つで。
1:48:05	じゃあその先行施設スズキと違い、
1:48:08	ていうのが何なのかっていうのは、ここに本来書くべき間違いですよ。例えばこのウなんだろう論点②の直交方向に配置するアンカーボルトの設計方針を示す。
1:48:20	ていうのが論点って言われると、何、何の論点なのかわかんないですね。
1:48:26	で、
1:48:27	ここで問題なってるのは先行審査実績はまず、そういったもの直行方向に配置するのはなかったと。
1:48:33	ということからじゃ、それだから論点になった。
1:48:37	なんかそういうイメージですよ。
1:48:39	まずそこだから、
1:48:41	まず流れ先行で、こういうのがなかったからこういうのが出てきた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:46	それをちょっときちっと書いた方がいいんじゃないですか。この点いかがですかね。
1:49:10	送信サービス。
1:49:23	はい、北海道電力の佐藤です。二つ目の丸の一つ。
1:49:28	最初の矢羽根 2 先行炉実績との相違点を踏まえたとしか書いてなくて、
1:49:34	抽出された論点が、先行サイトでどういうふうなものだったか。
1:49:40	このサイト独特のものだと。
1:49:42	そういった
1:49:44	方に、ちょっと言葉を補うような形で、
1:49:47	追記したいというふうに考えました。よろしいでしょうか。
1:49:51	はい規制庁おっしゃいますそうです。要はこの資料見た時に
1:49:55	何か基本的それでいいと思ってるんですけどそもそも論としてこれ、例えばですね、何かそちらの担当じゃなくてもっと。
1:50:03	別の人のミナミた時に、何か論点って書いてあるけどこの論点がこの内容と合ってるかどうかそういったのをちゃんと見たら多分わかってくると思うんですよねそこを、
1:50:12	踏まえて、これ、あくまでも例示ですので、論点 3 オカモト 1 も 4 も一緒ですね、側とまた見てください。が一つで、
1:50:21	あとちょっと論点っていうふうに日本語使ってるけどこれ何か、
1:50:26	すごい違和感は感じています。例えばですね
1:50:31	あんこの等の止水ジョイントの構造に対するいろいろな内容についての論点がおっきい括りの論点とわかるんですけど、ここで書いてるのはどっち。
1:50:45	ここに書いてるのはどっちかということ、妥当性に関して説明が必要な事項のようなイメージがあるんですね。
1:50:51	いや、何か急に何か論点が四つ出てきて作業スケジュールのあそこに四つこれ書くんですか。
1:50:58	多分書かないですよ。
1:50:59	だとしたら、
1:51:00	もうちょっと記載はもうちょっと適切な表現があるんじゃないですか。
1:51:04	この点どうでしょう。
1:51:16	北海道電力の高橋です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:18	論点っていうと、今審査やってる中で本当に審査会合で議論をするようなイメージ。
1:51:27	論点図アノ論スゲノ中にもしっかり書くような内容というふうにとらえてます。そういった意味で、おっしゃる通りここで論点っていうのは、
1:51:38	ちょっと大上段に構え過ぎた表現かなとは思いますが、先ほど言われた妥当性の説明に必要な点ですとか、そういった
1:51:49	論点という言葉でない表現すべきかなと思いましたが、修正したいと思います。はい。規制庁城です。わかりました。そこで、この3ページの上の方の文章の二つ目のマルのうちの、
1:52:04	二つ目の矢羽根抽出した論点のうち、論点2及び論点3を説明する。
1:52:12	※2、4.1とは他については他で示すって感じで、
1:52:17	うん。なんで。
1:52:18	何でってのは、何で2と3しか説明しないの。
1:52:22	なんで1と4は説明パワポでしないんですか。
1:52:26	というのがわからないんですねアノ a アンドウ c ことはわかるつもりなんですけど要は説明が足りないと言ってるんですね。
1:52:34	私がだからここで言いたいのは、一番左でこれ一応設計の論点と書いてあるものがあつたら、ここはじゃあ何を説明しないといけない項目なのか要は先行と何が違って、どういうふうな、
1:52:46	ことがあるのかそれについて、回答として真ん中の設計方針なりで、それに対して、これこれこうだから、
1:52:56	大丈夫なんですよっていう説明があつてその中身の軽重によって、パワポで説明するのか、点、まとめ資料で説明するのかがわかると思うんですね。
1:53:07	ですねまず軽重を判断した上で軽いものについては、少なくとも、
1:53:12	説明、
1:53:13	そしてショウリヤクパートしか、何だろう。
1:53:18	ページオダページだけで説明しないんだつたらもうちょっと手厚く。
1:53:22	書かないといけないんじゃないすかね。
1:53:24	ていう要はだから、もう1回言いますね要は日、どういうふうな選考との違いがあつてそれをどういうふうにして設計方針にする、そ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	こまではちょっときちっと運営日本をもっと充実させて欲しいと思います。
1:53:37	じゃないと、省略できる、意味がわかりません。
1:53:40	言ってる意味わかりますか。
1:53:49	北海道電力の千葉です。藤原さんを頭からいただいたコメントを踏まえましてこちらの資料この論点2と、論点3について説明パワーポイントで絞って説明しますけれども、その流れがわかるように検討して記載充実したいと思います。
1:54:06	以上です。
1:54:08	はい。江藤。規制庁藤尾です。もう二つほどちょっと力記載関係でまとめ資料の、
1:54:15	134 ページを開いてください。
1:54:21	まとめ資料の 134 ページで、
1:54:25	各種合成指針の適用範囲とアンカーボルト仕様の比較っていうのがあって、これは、
1:54:30	同じような図表が、パワポにもあります。
1:54:36	パワポでいくと、これは、
1:54:39	2 ページかな。
1:54:42	パワポ 5 ページ。
1:54:46	このパワポの 5 ページとまとめの 140、134 を見る、比較すると、
1:54:53	一番右の列ですかね。
1:54:56	パートなんか、各種合成指針との関係があって、バツ、マルになって、三角ですか。まとめ資料だとそもそも何か上の表が判定とかだったり、
1:55:07	あと何かバツがなんかいきなり 0 になったりとか、
1:55:10	大分違いがあります。
1:55:12	これは何かこの資料見る限り私パワポの方が何かただしそうな印象があって、
1:55:18	むしろこれ反映が抜けてるっていう理解でいいですかね。
1:55:24	それでも何か理由があってこの作業を示してると。
1:55:36	移動電力の白壁です。まとめ資料の方はちょっと記載がまだ古いものが残ってまして判定のところは各種合成構造設計指針との関係に修正いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:49	バツから0へとまとめ資料の方でバツから0っていうふうに記載したのは、まとめ資料すいません、パワーポイントの方で17ページ。
1:55:58	2、衛藤。
1:56:00	こちらはですね最初5ページの方でバツとしていたものを、アンカーボルトの性能試験により、設計の妥当性があるということで0というふうに記載をしましたのでそれを統合して、
1:56:12	まとめ資料の方ではバツからバツ矢印もあるっていうふうに記載を、ちょっと
1:56:17	したというような気になります。
1:56:21	はい規制庁藤原ですけども何となくそんな気がしてたので、改めて申し上げますけども、まずやるべきこと、まとめ資料です。134においては、
1:56:31	指針の適用範囲を超えてるか超えてないかで、タイトルをやるのであれば、バツはバツままであって、それが0になることは、
1:56:43	有井ないですね。要は、じゃあそういう拡大解釈したんですかって話なんで、だから、今まで事業者から説明を聞いてる限りだと、
1:56:50	適用範囲を超えてるものが設計の妥当性を説明するって言うので、ここはバスまでやってバツを別に構わないんでしょうね。で、そのあとで、妥当性が確認できた。
1:57:02	で終わりで、別表1個矢印で0に過ぎちゃって、
1:57:06	感じてなくて、もっと言うところのパワポの17ページも、この表って何か要らない気がしたんですけど、
1:57:15	移動電力の白川ですパワーポイントの17ページは、0にした方が説明上わかりやすいかと思って、割り方持って用意いたしましたけども誤解を生んでしまうので、こちらは削除させていただきます。
1:57:30	文章で、その妥当性があるということをちゃんと説明するようにいたします。
1:57:37	はい規制庁城です。わかりました。ちょっと私が一番気にしてるのは各種合成指針を超えてるものを、何か何、何ですかその範囲内であるかのように見えるこの17ペーパーと17ページの表現はちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:52	すごい何か事実と違う気がしたんでそこでちょっと注意してやった方がいいように思いました。はい。
1:57:59	私からは以上です。
1:58:14	規制庁熊谷です。同じ図のところなんですけどもまとめ資料で134ページのところ、
1:58:20	のところで※2として下のところで
1:58:25	無菌コンクリートに対しても適用性があると考えてるのに対してです
1:58:30	各種合成指針のところでも、この金コーポレート試験条件として論文を参考文献としているというふうに記載されてるんですけども、これ
1:58:38	そうなんだろうなと思うんですが、一応
1:58:42	具体的にどれを見代表的にこの文論文見てもらえば、それがわかりますよっていう、何か代表的な論文があればですねちょっと、
1:58:51	パフォームには書かなくてもいいかもしれませんが、アノオン大井まとめ資料にはついてつけていただければなと思いましたがいかがでしょうか。
1:59:00	移動電力の白川です。当間各種合成構造設計指針に載っている、資料が追えるように、こちらのまとめ資料に充実させた記載を充実させていただきます。はい。よろしくお願いいたします。
1:59:19	規制庁の赤沢です。私の方からまず最初に資料1の4ページなんですけど、
1:59:28	この図の中に、
1:59:33	傍聴駅の現場に雨水防止用のた対応の屋根付けるって書いてあるんじゃないつくって文章では書いてあるんですけど、この図の中でわかるように、図面でヤギつけるぐらいちょっと入れたい欲しいなと。
1:59:47	言葉だけじゃなくてちょっと図でわかるようにして欲しいなと思います。
1:59:52	同じく資料1の28ページとか、
1:59:57	106ページとか108ページにある、
2:00:02	大体主要な図に、
2:00:05	雨水対策用の対応する対応する予定って書いてもらえば、
2:00:12	上の人にはわかりやすいかなと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:15	それが1点で対応の方をお願いできればと思ってます。よろしいでしょうか。
2:00:26	北海道電力の千葉です。止水ジョイントまとめ資料のHead法において止水ジョイントの天端に
2:00:34	雨水の対策設備を設置すると記載しておりますのでそれがわかるようにパワーポイントの図面とかも、記載収税したいと思います。以上です。ポイントと主な図で、28ページとか、
2:00:47	概要を示すところに書いておいてもらえばと思います。
2:00:50	続きまして資料一位は先ほど言ったように分担率についてはちょっと、
2:00:57	水平方向と鉛直のそのボルトの分担率についてはいろいろコメントあったんですけど、もう生報告1本に行くっていうことであれば、特に
2:01:08	設計方針が変わるんで問題はないと思うんですけど、
2:01:12	例えばですね私知りたいのは、資料1の、
2:01:16	9ページで、
2:01:19	下の図の、
2:01:22	解析2からやられたっていう、これの解析イメージのフレームで、この定着部材っていうのは、
2:01:29	本当の剛性を入れてる、使う予定の剛性を入れてるんでしょうか。それともすごい剛性無限大にして入れたモデルなんんでしょうか。ちょっとこの、どうやって出したのかなと思いました。
2:01:44	北海道電力の千葉です。こちらパワーポイントの9ページの下に書いてある、衛藤氏、甲斐関野家等フレーム計算ですけれども、このフレーム計算の剛性としては、実際の定着部材の構成をイメージした衛藤構成を考慮した数字を入れる。
2:02:02	入れて解析衛藤を
2:02:04	しております。以上です。
2:02:06	わかりました。ほぼ近いんですか。
2:02:10	一応、今す。
2:02:15	呈茶安価アンカーとか、定着部材に対しての設計方針を作るということなんですけど、先ほど
2:02:21	フジワラ井崎ミウラからもあったように、何に対して安全率を見ているのか、安全余裕を見ているのかっていうのは明確にして欲しいと思うんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:48	北海道電力の佐藤です。
2:05:31	まだ記載漏れてるところありますんで、その辺、今後記載充実させたいなと思いますというところと、
2:05:38	あと3次元の話は、資料上どこに書きましたっけ。
2:05:49	7ページですかね、七つのところ、今回の範囲ですとかひずみ、
2:05:54	そういったところに対しての安全側の理由、
2:05:59	そういったところも記載するようにいたします。以上です。
2:06:04	お願いします。私から以上です。
2:07:01	規制庁藤原ですが、
2:07:03	規制庁側から確認したいことって他よろしいですかウエキサカタオカダも含めても、
2:07:10	よろしいですかね。はい。そしたら
2:07:14	今日のヒアリングコメント。
2:07:17	回答リスト、資料1-4に基づき、今回の回答内容の良化継続かを、お話をさせていただきます。
2:07:27	ではまず、84番、
2:07:30	については、衛藤亮となります。
2:07:34	その次、116番については継続。
2:07:41	いろいろ話が出たって、
2:07:44	いわゆるその直結するもの。
2:08:04	はい、衛藤継続ということでお願いします。
2:08:08	その次119番については、これは
2:08:15	継続。
2:08:17	ですかね。
2:08:19	そうですね。
2:09:00	規制庁じゃそこは驚見にしたいと思いますが、ちょっと今回中さんの方から出た内容を踏まえてちょっと記載を適正化ください。
2:09:09	120番についてはこれも一応何か図は、
2:09:15	今つけていただくということですが基本は了承というふうな形で言います。はい。
2:09:21	125番について、わあ、
2:09:24	これも、
2:09:26	これもそうですね今後のちょっと説明内容踏まえて継続していただきます。
2:09:31	128、これも継続ですね、同様です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:38	129番は、古井モデルにおけるアンカーボルトの定着材について、
2:09:44	曲げの処理をどのようにするか、これについては、
2:09:51	固定なんですけど、柳生萩尾処理するんですね。
2:09:56	ですよ。これ結構です。はい、じゃあねこれは結構、
2:10:01	そういうことですねはい。これじゃあスミダします。
2:10:05	130番についてはこれもまださっきのナカサノコマツという図、ヒグチパークレーンズ追記いただいた上で、基本料とします。
2:10:16	131番についてはこれは0。
2:10:20	これは、
2:10:22	許可段階です。
2:10:34	すいませんここに関しては設工認ではなくて、許可段階で説明してください。方針として、耐久性に対してどういうことをする、しますっていう。
2:10:47	方針と方針を書かないと。
2:10:53	耐久試験がどうするとか、
2:10:56	バク口試験はどうするとか書いてあるんですけど、本郷。
2:11:29	北海道北海道電力の千葉です。今、事業者内で調整しております。
2:21:23	北海道電力の千葉です。ゴムの耐候性耐久性衛藤につきまして、
2:21:30	間瀬公認でやる試験の方針をわかるようにこの許可の段階の、この衛藤まとめ資料に記載するようにとしたいと思います。
2:21:42	はい経常チハラですじゃ131については継続とします。次132については
2:21:53	どう、
2:21:55	端部コンクリート、
2:21:58	着工アンカーボルトの配置。
2:22:02	セメント改良と書いていることについて、
2:22:07	そっか。
2:22:09	あんまコンクリートがいいですよ。だちょコウアンカーボルトの荷重負担についてはまだ、東翼まだ説明がきいてきてないように思うので、そこは、今日の話も含めて、継続というふうに、
2:22:21	したいと思います。はい。
2:22:23	以上ですかね。はい。
2:22:27	今日のごめん。この件について事業者の方から確認ありますか。
2:22:33	特に砂層ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:36	その一環。
2:22:39	麻生お待ちください。
2:23:09	はい。藤湯浅ですねはい。そしたらちょっと今日の事実確認事項を整理しますので、一旦文字起こしを停止いたします。
2:23:21	はい。規制庁藤原ですそれは今日の事実確認事項についてまとめましたので話をします。今回は止水ジョイントの直行方向のお話なんですけども、
2:23:33	兆候なんかですね基本ケースとか影響検討ケース①②の考え方を、ちょっと何かわかりにくいところがあってそこはきちっと整理をしていく上で、改めてこの内容は説明してください。
2:23:45	それに加えて設計フローというのがすごく作成をして、今回、何か何をやるとしているのかがちょっとわかりにくかったんでそこら辺は、今日のヒアリング内容踏まえて
2:23:56	適切にわかりやすくして欲しいと思ってます。この点いかがですかね。
2:24:08	北海道電力の千葉です。コメント承知いたしました。
2:24:11	規制庁弱ですそれは全体を通じてウェブで参加の方も含めて何かございますでしょうか。
2:24:20	そしたら北海道電力の方から何かございますでしょうか。
2:24:31	北海道電力のタツザワですと、当方から特にございません。
2:24:35	それでは今日のヒアリングは以上としたい。以上とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。